

子育て・共育て・共育ち講座 活動報告

★ 親子で芋ほり 10月19日(日)

西枇杷島地区渡邊農園

5月の連休に芋の苗を植え付け、収穫まで約5ヶ月。梅雨の時期に雨が降らない、酷暑で草取りや水やり等できなかつたため、心配しながらもただ芋が大きく育つように見守りました。秋になり、芋ほり日程が10日以上早まることが決まり、芋の育ち具合を心配しながら当日を迎えました。

定員以上の参加者がにぎやかに集まり、説明後、さっそく芋ほり開始。どの家族も子どもを中心にスコップや手で思い思いに掘っていました。ミミズや幼虫、カエルに「キャ〜!」、芋に「わ〜!」と歓声が上がりにぎやかです。しかし、場所によっては掘っても、掘っても芋が見つからずがっかりされる場面もありました。例年は袋からあふれるほど収穫できていたのですが、異常気象の影響もあり芋のサイズは小さめで、せっかく参加された方々のことを思うと申し訳なく、残念な結果となりました。それでも収穫できた芋を持って帰ってもらうことができ、また「大いも大賞」、「長いも大賞」の賞品のお菓子を手に子どもたちは大喜びでした。

20年以上続けてきた渡邊農園の芋ほり大会ですが、農園主が高齢になったこと、近年の異常気象に対応できない等のため、残念ですが今年度で終了させていただくことになりました。毎年可愛い子ども達が掘りに来てくれて楽しい時間でした。これからも土に触れ、心も体も健やかに育ってほしいことを願っています。長い間ありがとうございました。



★ 親子で人形劇 2月8日(日) 春日公民館 教養室

急な選挙で会場が使用できず、急きょ春日公民館の和室に場所変更しました。雪が舞う寒い日でしたが、子ども36人、大人35人(計72名の参加で行いました。人形劇団むすび座の「ぞうくんのさんぽ」「ペラがえる」の演目です。初めにペープサートで子ども達を引き付けてくれ、「ぞうくんのさんぽ」の始まりです。大きなぞうくんにかばくん、わにくん、かめくんを乗せて弾む音楽と、お兄さん2人の通る大きな声と共に子ども達の笑い声が聞こえてきました。「ペラがえる」では、名古屋弁のおばあちゃんが登場です。ペラペラフラフラのペラがえるになってしまい、ぞうくんは雨を降らせて元の体に戻してくれるのです。名古屋弁のおばあちゃんの言葉に笑い声もあり、親子で楽しめた人形劇でした。アンケートでは、皆さん喜んでいただけただけで良かったです。

